

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	19-3																																					
PDCA	主要事業名	高齢者保健・介護予防一体的実施事業	部課名	福祉部健康課	担当	数内																																						
					内線	377																																						
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 3 - 2 - 1 単位施策： 健康づくり 全体事業期間： 令和 5 年度 ～ 5 年度 全体事業費等： 3,334 千円 会計 一般会計 歳出科目： 04.01.01.09.01																																											
	事業概要等	事業概要： 後期高齢者の保健事業を介護保険制度の介護予防事業や後期高齢者医療制度の健診事業と接続して、一体的に事業を実施する。本事業は、愛知県後期高齢者医療広域連合の委託を受け、市が実施する。																																										
		事業目的： 後期高齢者の健康増進・介護予防を推進し、健康寿命を延伸するため。																																										
		事業内容： 健診・介護データ等から把握した健康状態不明者の健康状態および生活状況を把握するため、訪問等を行う。また、地域の通いの場等で健康教育・健康相談を実施し、フレイル予防を推進する。																																										
		問題点： 従来、後期高齢者医療制度では健康診査の実施のみであったが、未受診者対策等： 策や保健指導等の保健事業を実施する。																																										
	予算額	主要事業とする理由																																										
	3,334 千円	後期高齢者の保健事業について、介護予防事業と一体的に実施することで効率よく構築・運用し、これまで対象ではなかった年齢層への健康支援の充実を図る。																																										
	財源内訳	得られる成果																																										
	市費 0 千円	後期高齢者の健康課題に応じた支援を実施することができる。																																										
	国費 0 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">訪問等実施者数</td> <td>実績値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>300</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">健康教育実施回数</td> <td>実績値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>55</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	訪問等実施者数	実績値	—	—	—	人	目標値	—	—	300	人	健康教育実施回数	実績値	—	—	—	回	目標値	—	—	55	回	その他	実績値					目標値			
目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位																																							
訪問等実施者数	実績値	—	—	—	人																																							
	目標値	—	—	300	人																																							
健康教育実施回数	実績値	—	—	—	回																																							
	目標値	—	—	55	回																																							
その他	実績値																																											
	目標値																																											
3,334 千円																																												
D 実績値と成果と	決算額	得られた成果																																										
	2,847 千円	健診・医療・介護の情報がなく健康状態が不明者の方へ訪問等を実施した結果、状況に応じて医療・介護等のサービスにつないだ（接続率100%）。また、訪問等の実施者のうち13.5%が健診を受診した。地域の通いの場等で実施した健康教育は目標回数を上回り、フレイル予防のためのセルフケア能力の向上を促し、介護予防と健康づくりを推進した。																																										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果指標</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">訪問等実施者数</td> <td>実績値</td> <td>230</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>300</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">健康教育実施回数</td> <td>実績値</td> <td>85</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>55</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					成果指標		令和5年度	単位	訪問等実施者数	実績値	230	人	目標値	300	人	健康教育実施回数	実績値	85	回	目標値	55	回																				
	成果指標		令和5年度	単位																																								
	訪問等実施者数	実績値	230	人																																								
		目標値	300	人																																								
	健康教育実施回数	実績値	85	回																																								
		目標値	55	回																																								
	課題の整理	事業の評価・課題	C ・顕在化していなかった健康状態不明者の健康状態や生活状況を把握することによって必要な支援につなぐことができた。また、何年間も健診未受診だった方が今回の訪問等をきっかけに健診受診につながったことから、未受診者対策としての効果もあったと考えられる。 ・地域の通いの場で実施した健康教育・健康相談を通して、健康状態や生活実態に合った具体的な方法でセルフケア能力の向上を促すことができ、保健師・栄養士・歯科衛生士など多職種の医療専門職が関わることで様々な視点で健康教育を行い、より効果的なフレイル予防や健康づくりにつながった。今後も安定的な事業実施のため、医療専門職の確保が重要である。																																									
改善推進																																												
今後の事業の方向性 ・健康状態不明者は未だ多数いるため、今後も個別の支援を継続する。また、フレイルと関連が深い「低栄養」の視点でのアプローチを新たに加え個別の支援の充実を図る。 ・効果的な健康教育を継続的に実施するため、医療専門職を活用して広く事業を実施するとともに、医療専門職のマンパワーの確保に努める。																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">必要性</th> <th colspan="2">有効性</th> <th colspan="2">効率性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①市の関与の妥当性</td> <td>妥当</td> <td>④上位施策への貢献</td> <td>中程度</td> <td>⑦コスト削減余地</td> <td>ない</td> </tr> <tr> <td>②市民ニーズ</td> <td>高い</td> <td>⑤成果向上の余地</td> <td>ある</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③休廃止の影響</td> <td>大きい</td> <td>⑥類似事業の有無</td> <td>ない</td> <td>⑧受益者負担適正化余地</td> <td>ない</td> </tr> </tbody> </table>				必要性		有効性		効率性		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない	②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある			③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない																	
必要性		有効性		効率性																																								
①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない																																							
②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある																																									
③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない																																							
A 課題の解決に向けた	観点別評価																																											

目標項目（予算計上時に作成）

主要施策の成果報告書で活用

目標項目（予算計上時に作成）

評価項目（決算時に作成）